



碧南ロータリークラブ週報

第2384回例会 平成19年11月7日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

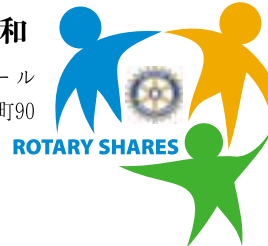
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

**ロータリーは
分かち合いの心**

● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテストの唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

第2760地区 ポリオプラス委員会・委員

一宮RC

磯部 茂君

福井あじさいRC 古市 恭也君



鈴木 敏弘会長

会 長 挨拶

めっきり秋らしくなって参りました今日この頃であります、朝、夕と寒暖の差が大きくなり、十分身体にお気をつけてご活躍頂きますよう、ご祈念申し上げます。先月は職業月間でありましたが、その月間中に企業が関わる数々のコンプライアンスの問題の報道を見聞き、もう一度基本にかえて法令を遵守してもらいたいものだと感じた次第です。

今月はロータリー財団月間であります。今年度に入り地区財団委員会が7月24日と10月24日の2回開催されました。この10月24日は、当クラブのインフォーマルミーティングで同時時間帯に重なり、副委員長の加藤良邦さんに、出席して頂きました。今日の卓話は、ロータリー財団委員長の長田昌昇さんより、RI2760地区ポリオプラス委員の磯部茂さんを講師として迎えて頂きました。磯部委員さん、よろしくお願い致します。

今日はオセアニアの防疫検査について、私の知人よりお聞きしておりますお話をさせていただきます。

オーストラリアと言えば、カンガルーとコアラなど有袋動物とエアーズロック、オペラハウス(シドニー)がシンボルで思い浮かべられます。

欧州のオーストリア(ウィーン)へ訪問した折、ギフトショップでTシャツや帽子にNO.KA NGAROOの文字の入った土産が目につくり、世界中の人々がオーストラリアとオーストリアを混同しているかと感じました。

それ程、カンガルーはオーストラリアの代名詞的存在です。オーストラリアは、牧畜、酪農、農業も大変盛んであり、初めて訪問した時、びっくりした光景にあいました。

シドニーへ飛行機が到着すると、スチュワーデスが機内で殺虫剤(消毒)スプレーで機内の前方から後方へまんべんなく噴射していきました。無臭でなんの違和感もなく、ハエの一匹も入国させない為、害虫の密入国を阻止している訳です。

酪農産業破滅を防ぐのに特に慎重になっており、入国時の税関検査の検査も他国と比較すると厳しい検査となっています。

入国書類もしっかり記入項目があり、ゴルフシューズ、ゴルフクラブ、ハイキングシューズなどや食物類はすべて申告することになっており、未申告や偽って持込した場合、発覚すると多額の罰金が課せられます。ついこのほどニュースで最高600万円以上が課せられた一報もあったようです。

又、ついこの間ニュージーランド入国の際も他国では一度もない入国検査後(税関検査終了後)改めて、スーツケースや機内持ち込みすべてのカバンや紙袋など持ち物をX線検査を行い、異常物品が無いか、検査を済ませ外へ出られるシステムになっていました。

オーストラリア、ニュージーランドを訪問されます方は、入国時の動植物類はかなり厳しい検査が行われますので、先ず持ち込まないようにするのが良いでしょう。もし、持っているのであれば正直に申告し係員に可能か是非を委ねることになります。

禁止品の場合は、権利放棄をすることになります。皆様、オーストラリア、ニュージーランド旅行には以上のような事を注意して頂きますようお願いし、今回のあいさつとします。

幹 事 報 告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- ・本日例会終了後、201号室にて第5回理事会を開催します。



石橋 嘉彦幹事

委 員 会 報 告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 80名 (内出席免除者 12名) 出席者 66名	
出席対象者 60/68名	出席率 88.24%
欠席者14名(病欠者0名)	前々回修正出席率 97.06%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

一宮RC地区ポリオプラス委員会委員 磯部 茂様より本日の卓話のお礼をニコボックスに頂きました。

長田 昌昇君 卓話の講師磯部さんをご紹介させていただきます。財団寄付頂いた方々に感謝申し上げます。

加藤 良邦君 11月3日秋の大祭お陰様にて晴天に恵まれ、無事に終わる事が出来ました。深く感謝致します。

奥谷 弘和君 税理士功労で黄綬褒章を頂く事になりました。

平岩統一郎君 商工会議所副会頭を仰せつかりました。微力ですが、宜しくお願いします。

黒田 昌司君 11/1 碧南商工会議所の臨時総会で引き続き会頭職に選任されました。皆様にご迷惑をお掛けするがあると思いますがよろしくお願い致します。

長田 銑司君 柴田書店より発行された息子達の本の出版記念会が東京のホテルでありました。多くの方々が出席して下さり有り難うございました。

〈親睦委員会〉

会員誕生日

11月20日 森田英治君 20日 鈴木輝彦君 22日 神谷 研君 (88歳)
27日 奥田雪雄君 29日 竹中 誠君 (還暦)

奥様誕生日

11月 2日 堀田益隆君の奥様・美代子様	3日 石川春久君の奥様・美鈴様
17日 鈴木輝彦君の奥様・智子様	18日 樺山善久君の奥様・悠久子様
20日 木村徳雄君の奥様・小百合様	28日 角谷 修君の奥様・由美様

結婚記念日

11月 2日 石川八郎右衛門君・浩子様 46年	2日 森田英治君・明美様 49年
2日 犬塚敦統君・清子様 40年	3日 岡島淳一君・綾子様 45年
5日 樺山善久君・悠久子様 46年	5日 木村克美君・由利子様 39年
6日 杉浦 求君・静子様 42年	8日 新美雅浩君・美由紀様 20年
12日 杉田 茂君・きよみ様 29年	12日 角谷 修君・由美様 11年
13日 沖藤季彦君・圭子様 11年	22日 堀田益隆君・美代子様 40年
24日 岡田越勇君・明美様 37年	28日 竹下 豊君・佳子様 36年

入会記念日

11月 2日 中根佑治君 4日 植松敏樹君 4日 奥谷弘和君

卓 話

「財団月間に因んで」

第2760地区ポリオプラス委員会委員 磯部 茂

私、実はポリオプラス委員会に5年間も所属をしていますが、外での卓話は初めてで、自信の無い点もありますが、DVDもありますので、よろしく御拝聴の程お願い致します。

特に、各クラブの財団の委員長をされています皆様には、クラブの嫌われ役を受けて頂いております。

これから、私の話とDVDを見て頂くことにより、多少なりとも財団のことを御理解頂き、財団は人のためになる事に使っているようだから、多少財布の余ったお金を寄付しておくかという気持ちになって頂ければ、今日の卓話の成果があったこととなります。



私の一宮RCは、年次寄付は一人当たり100ドルを毎年達成しております。それは、クラブの財団の委員会に多くの予算を持っておりますので、会員の寄付が足りない場合は、そちらから補填をして頂き、100ドルにしています。碧南RCの場合は、委員長が皆様をお願いされて理解した意識を持った80ドルで、どちらのやり方が意味のある寄付なのかは、申し上げられませんが、私は碧南RCスタイルが気持ちがあり、良いかと思っております。「毎年、あなたも100ドルをお願いしております」これは、英語の方の言語では「エブリ・ロータリアン」「エブリ・イヤー」という言葉になっております。直訳すれば、全てのロータリアンが毎年100ドルをという事ですが、なぜ100ドルという数字が出て来たのかは、後程お話の中で単純に割り算をして頂ければ、すぐ解るようになっております。

現在、全世界にロータリアンはおおよそ120万人います。そして、財団の寄付の総額はお手元の資料に書き上げておきましたように、1億1190万ドルで、130億円位ですかねえ。そうしますと、1人100ドル以上になるということでございます。

又、年次寄付ですと、9260万ドルでおおよそ100億円強という数字であり、もう少しで120億円まで、持ち上げたいというところが、日本語訳の本音ではないかと思えます。

次にロータリー財団の話をしたと思います。

財団の正式な名称は、国際ロータリーのロータリー財団で、すなわちRIのロータリー財団という事です。これは、何を意味するかと言いますと、両方が奉仕の活動と資金を調達するという車の両輪の役割を果たしている。そして、ロータリー財団は、国際ロータリーのためにあるんだということでございます。1917年にロータリー財団は提唱されました。その前にさかのぼること

12年前の1905年にポール・ハリスとその仲間達が毎週集まって、色々な話の中で世のため人のため何か出来ないかという事が盛り上がりロータリーが発足した訳であります。その12年後に、アトランタの国際大会にて、アーチC・クランフという方が基金を募ったらどうかという事を提唱されました。そして、1928年に「ロータリー財団」と名付けられ、1983年に非営利法人になりました。そして、非営利法人であります、ロータリー財団の構成メンバーというのは、正に国際ロータリーだけであります。その管理委員会15名の内、元国際ロータリーの会長が4名、近年においては、会長エレクトも入りました。又、全くロータリー未経験の方が5名いらっしゃいます。そういったところを見ましても、両者の関係というものが「国際ロータリーとロータリー財団」は切っても切れない関係であり十分ご認識頂けるという事です。

財団への寄付には、どんな物があるのか、皆様は年次寄付について、良くご承知されていますが、その他に恒久基金への寄付がございます。これは、ずっと元金はプールされており、その収益のみを色々な事業及び奉仕活動に運用されています。年次寄付は、3年間プールをし、4年目になって、その基金の年度分と収益金を運用して行く寄付であります。そして、3番目にポリオプラスなどに代表されます用途指定寄付です。これは定められた指定のプログラムで、プロジェクトのみ運用されるものでございます。そして、その寄付はどの様に使われるのかという部分は、後程見て頂くDVDにて、詳細に紹介されています。端的に言いますと、ロータリーの寄付金を使ってのプログラムは3種類あります。教育的なプログラムと人道的な補助金のプログラム、そして3つ目にポリオプラスに対するプログラムに大別されます。そして、教育的プログラムの中には皆様、よくご存知の国際親善奨学金プログラム、そして、世界平和のフェローシッププログラム。大学教育のためのロータリー補助金のプログラム。研究グループ交換プログラム（GSE）。最後に紛争解決研究プログラム等の五つに大別されます。2番目に言いました、人道的補助金プログラムについては、地区補助金・3-H補助金・マッチンググラント等があります。地区補助金は昨今、大変たくさんの応募がありまして、各クラスがロータリー財団と関わりやすい部分でございます。是非、御研究頂きまして、補助金の申請をお願いします。DDFの20%が使えます。現在、地区では、昨年の金額で580万程の予算があります。昨年は全て使い切っているようです。もう一つ、考え方を大きく広げまして、ロータリー財団への寄付は年間どの位あるのか、先程の話の中で触れましたけれども、2005年から2006年度で年次寄付は9500万ドルです。恒久基金寄付で1210万ドルです。用途指定寄付では720万ドルでございます。この合計は1億1千万ドル強です。

これの投資収益がビックリしますが、5000万ドルとなっております。なぜ、1億2千万ドル弱で5000万ドルの投資収益が出るんだと思われれます。4割5分に近い数字でこれは大変な事と思われるかもしれませんが、ここで先程申し上げました3年間プールして運用するという事で、単純に年利で割りますと16%位で廻っているというところなんです。会社として考えると優秀な会社であります。

現在、財団はその資産の残高が8億ドル（約900億円以上）保有している。しかし、2000年から2001年には資産運用をかなり失敗したことで、現在はシビアに運用されるようになりました。

我々もロータリー財団の資産運用に十分関心を持って見て行く必要があると思います。DVDについては、先程お話した所と重なりますが、ロータリー財団で行っています奉仕活動のプログラムが詳細に出てまいります。しばらく御鑑賞下さい。よろしく申し上げます。

<DVD放映中>

今、ご覧頂きましたDVDの内容が財団で行われています色々なプログラムの紹介であります。最後に5年目になります「ポリオプラス委員会について」説明させて頂きます。現在ポリオプラスは1985年段階では、135ヶ国に蔓延しておりましたが、2003年から2005年に皆様方に集中的に募金活動に御協力を頂きました結果、当2760地区では、一人当たり150ドル相当の寄付を集める

事が出来ました。その募金活動によって、2007年6月現在では、世界でのポリオの発生例数は4カ国のみとなり、99%以上が撲滅されています。しかし、現在撲滅宣言がなされないのは、発生4カ国のインド・パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリア等は、政情不安定でありまして、ポリオワクチンの投与が出来ない所がございます。あと一步の所で足踏みが続いているのが現状であります。

現在、2760地区のポリオ委員会も、その4カ国へ出向くことは、政情的に大変難しい事であります。しかしながら、ロータリーの大阪地区で、WCS世界社会奉仕の関係で現実にワクチン投与に行ってもらっしゃる地区もあります。現在我々は、そちらの地区ロータリーとのタイアップを図りながら、2760地区ポリオプラス委員会の委員長の名古屋東山RCの近藤さんが中心になり、積極的に実際に投与に行ける様に計画を進めております。その時は、現実各クラブに御案内があるかと思いますが、奉仕の精神で行って見ようかと思う気持ちになりましたメンバーの皆様には、是非参加して頂く事をお願い申し上げまして「ロータリー財団の説明について」のお話をこれを持ちまして終わらせて頂きます。

大変、御清聴を感謝申し上げます。ありがとうございました。

<ロータリー財団「Q&A」>

ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」であり、国際ロータリーと法的に組織は違ってもその目的・使命・活動は両者一体のものであり、車の両輪の様に奉仕活動と資金調達を行うものであります。

以下、ロータリー財団をご理解いただくための基礎編を「Q & A」にしてみました。

(Q 1) ロータリー財団はいつ出来たのか？

A：1917年アトランタ国際大会でアーチ C・クランプが基金創設の提唱し、1928年ロータリー財団と名づけられ1983年に非営利財団法人となりました。

(Q 2) 財団への寄付はどんなものがありますか？

A：3種類に大別されます。

- ①恒久基金への寄付（収益のみ運用）
- ②年次寄付（3年間プールし初年度分基金と運用収益を4年目に運用）
- ③使途指定寄付（指定プロジェクトに運用）

(Q 3) ロータリー財団の行っている事業は？

A：寄付金を調達する事と活用する事であり、寄付金を活用するプログラムは以下の3つです。

1. 教育的プログラム。
 - ①国際親善奨学金プログラム
 - ②世界平和フェロシッププログラム
 - ③大学教育のためのロータリー補助金プログラム
 - ④研究グループ交換（G S E）プログラム
 - ⑤ロータリー平和および紛争解決研究プログラム
2. 人道的補助金プログラム。
 - ①地区補助金
 - ②3-H補助金
 - ③マッチンググラント
3. ポリオプラスプログラム。

(Q4) ロータリー財団へは年間いくら寄付があるのか？

A：2005－06年度で

年次寄付	9 2 6 0 万ドル
恒久基金寄付	1 2 1 0 万ドル
使途指定寄付	7 2 0 万ドル
合計	1 億 1 1 9 0 万ドル
投資収益	5 0 0 0 万ドル

(Q5) 寄付金はどこに使われているのか？

A：2005－06年度で

人道的補助金プログラム	4 4 3 0 万ドル
教育的プログラム	2 1 9 0 万ドル
ポリオプラスプログラム	2 4 9 0 万ドル
合計	9 2 2 0 万ドル

最後に、「毎年あなたも100ドルを」・・・。

次回例会案内 平成19年11月21日（水）

「ドラゴンズ日本一の足跡」

CBC野球解説者 彦野利勝氏